

PT900

スタートガイド

本ガイドで取り扱う範囲

本ガイドでは PT900 の設定と操作手順が説明されています。詳しい説明は同梱の CD-ROM をご覧ください。

PT900 をパッケージから取り出す

各パッケージには次のものが含まれています。

- PT900
- スタイラスペン PT900 の裏側上部に内蔵
- NiMH バッテリーパック
- DB-9 メス型 IDC タイプ RS232 ケーブル
- ゴム製安定パッド 1 組
- CD-ROM には PT900 ユーザーズマニュアル、PT019 ユーザーズマニュアル、ホスト接続ユーティリティ (HostSync) マニュアルとその他のドキュメントが入っています。

その他はオプションです。

1. 箱、梱包材は修理等で送付される場合に必要ですので、保管しておいてください。
2. 注文された製品がすべて入っているかどうかパッケージの内容を確かめてください。
3. 配送の途中で損傷していないかどうか確かめてください。何か足りないとか損傷している場合は、当社へご連絡ください。

PT900 の設定

作業場所の選定

PT900 を作業しやすい高さのところへ置きます。次のような場所は避けてください。

- 温度や湿度が急に变化する場所
- 埃っぽい、高温、多湿、直射日光があたる場所
- 放熱物体のそば
- 強い電磁場を放射する物体 (ステレオのスピーカーなど) のそば
- 液体や腐食性の化学薬品のそば

PT900 を使う場合でもまた保管する場合でも、高温や低温の場所は避けてください。人間にとって快適な温度や湿度は、PT900 にとっても快適な温度や湿度です。

バッテリーパックの取り付け

1. ユニットの裏側の下方にあるバッテリーコンパートメントの蓋のボタンを押して横に引き、蓋を取りはずします。
2. バッテリーパックのラベル側が手前に、バッテリーパックのリボンがユニットの下になるように置きます。バッテリーパックがバッテリーコンパートメントにきちんとはまるように、バッテリーパックをしっかり挿入します。
3. バッテリーパックのリボンがバッテリーパックの上になるようにして、バッテリーコンパートメントの蓋を横に引きます。蓋をしっかりと押し込みます。蓋のラッチが下りるとカチッという音が聞こえます。

PT900 の電源

1. AC アダプタを PT900 の電源ジャックとコンセントに接続します。
2. PT900 の電源スイッチを入れます。

注意：メインバッテリーパックを初めて充電するときは、PT019 を使わないでください。

メインバッテリーとバックアップバッテリーを初めて充電する

PT900 を “ON” にして、NiMH バッテリーパックを 14 時間以上充電します。リチウムバッテリーパックアップとメイン バッテリーを同時に充電するときは、ユニットは “ON” になっていなければなりません。

注意：AC アダプタを使わないで、しかもバックアップ用リチウムバッテリーを十分に充電しないで PT900 を初めて操作すると、RAM メモリ内のデータが失われることがあります。

PT900 の操作

PT900 の電源を入れる

電源 ON/OFF ボタンを押して PT900 のスイッチを入れます。PT900 がサスペンドモードのときは、電源 ON/OFF ボタンを押します。

PT900 の電源を切る

PT900 がサスペンドモードのときは、電源 ON/OFF ボタンを押します。電源 ON/OFF ボタンを押して PT900 をサスペンド状態 (あるいはスリープ状態) にします。PT900 をサスペンド状態にすると省エネができ、しかも最後に使用した画面から再開できます。

スタイラスペンの使用

警告！PT900 のスタイラスペン以外のものをスクリーンで使用しないでください。使用すると、スクリーンが黒くなる等、取り返しのつかない損傷を起こします。

1. 鉛筆を持つようにしてスタイラスペンを持ちます。
2. メニューから選択するときは、スタイラスペンの先端で希望のメニュー項目を軽く押します。
3. フィールドにデータを書き込むときは、スタイラスペンを使って文字や数字を書きます。できるだけ圧力をかけないで使います。

レーザーキャナ

警告！キャナのレーザー光線を見つめると、取り返しのつかない損傷を受けますので、見つめないでください。

PT900 のレーザーキャナ・モジュールは、Class II レーザー製品です。出力ウィンドウから 1.0 mW のレーザー光線が放射されます。本製品は、U.S. Department of Health and Human Services (DHHS) Regulation 21 CFR Subchapter J 準拠製品です。この状態を保つためのメンテナンスは必要ありません。プロジェクトの調整やコントロールはできません。Class I の限度を越すレーザー光線は、内部の保護カバーの中で放射されます。

一般規定

FCC ステートメント

本装置はテストの結果、Federal Communications Commission (FCC) 規定の Part 15 に基づく Class A デジタル装置の限界基準に準拠しています。これらの限界基準は、本装置が商業用に操作される場合に、常識的な保護を与えるための限界規格です。本装置は添付のマニュアルに従わずに取り付けて使用すると、周波エネルギーを発生し、使用し、また放射して、無線通信を妨害することがあります。本装置を住宅地で操作すると、無線通信を妨害することがあります。その場合、修正手段が必要となる場合は、ユーザー負担となります。

本紙の情報は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。本紙にあるテクニカル上あるいは記載上の脱落、誤りに対し責任を負いません。また、偶発的、あるいは本紙の情報をを使用した結果起こる損傷に対しても責任を負いません。本紙は著作権で保護されています。すべての権利が当社に帰属します。当社の書面による事前許可なしで、本紙のどの部分も複製することはできません。

©Copyright 2000 Unitech Electronics Co., Ltd All Rights Reserved.

HEAD OFFICE
Unitech Electronics Co., Ltd.
8Fl., No. 118, Lane 235,
Pao-Chiao Rd., Hsin-Tien City,
Taipei Hsien, Taiwan, R.O.C.

Tel: +886-2-8912-1100
Fax: +886-2-8912-1391
Email: adicsales@unitech.com.tw
http://www.unitech-adc.com